

# AMEDロボット介護事業について

医療機器・ヘルスケア事業部  
ヘルスケア研究開発課  
主幹 原島忠雄

令和4年7月14日

# ロボット介護機器開発等推進事業（令和3年度～6年度）

## 【事業目的】

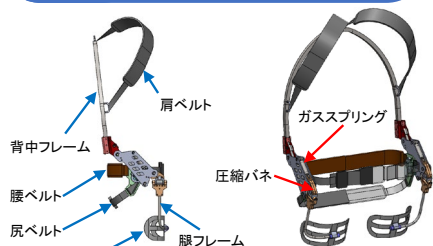
高齢者の自立促進や介護者の負担軽減、介護現場の生産性向上、感染症対策等介護現場の課題を解決するロボット介護機器の開発を支援。

## 【事業概要】

- 1. 開発補助：**介護施設や在宅等の介護現場のニーズやオペレーションの全体像を適切に把握し、介護現場の生産性向上や、介護の質の向上、高齢者の自立に資する、ロボット介護機器の改良及び開発を目的とし、厚労省と経産省で定めた重点分野6分野13項目の対象機器・システムの開発支援を行う。また、重点分野に含まれない介護現場等における感染症対策に資する機器・システムの開発の支援を行う。
- 2. 環境整備：**ロボット介護機器の現場への導入促進を目的とし、以下3分野の支援を行う。
  - ①安全基準ガイドライン策定：前身事業で策定した機器開発のための安全基準について、より定量的な基準の策定を目指す。
  - ②海外展開等に向けた臨床評価ガイダンス等の策定：海外展開を考える企業の臨床評価実施面におけるハードルを下げ、海外展開推進のための環境整備を目指す。
  - ③開発成果普及：前身事業にて作成したロボット介護機器導入促進のためのガイダンスやマニュアル等を題材として、活用率向上に資するプログラムの開発、及び活用されるためのマニュアル等の作成方法をノウハウとして開発し、安全なロボット介護機器の開発と共に導入促進を行う。

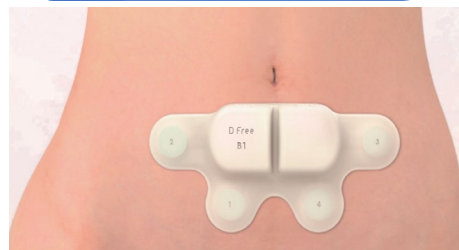
## 【令和3年度事業での開発実施事例】

### 事例1 介護者の腰の負担を軽減する機器



事業者：(株)イノフィス

### 事例2 排便予測を行い排泄を支援する機器



事業者：トリプル・ダブリュー・ジャパン(株)

### 事例3 介護業務支援を支援する情報プラットフォーム



事業者：コニカミノルタ(株)

### 事例4 施設の居室の様子を守る機器



事業者：エアアイビュライフ(株)

# 令和4年度新規公募（開発補助）

公募期間：6月20日～8月1日【正午〆切】

## 【対象分野】

分野① ニーズは高いものの製品化に至った開発が少ない、そして普及に向けてまだ改良の余地が大きいと思われる、重点分野のうち5項目の機器・システムの開発

分野② 重点分野に含まれない介護現場等における感染症対策に資する機器・システムの開発

#	分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	新規採択課 題 予定数
1	分野①－1 重点分野のうち以下の3項目の対象機器の開発 ・移乗介助（非装着移乗） ・移動支援（屋内移動） ・排泄支援（排泄動作支援）	1 課題当たり年間 3,800千円から60,000千 円	最長3年度 令和4年度～ 令和6年度	0～2課題 程度
	分野①－2 重点分野のうち以下の2項目の対象機器・システムの開発 ・見守り・コミュニケーション（在宅見守り）※入浴見守りのみ ・介護業務支援（業務支援）			0～2課題 程度
2	分野② 介護現場等における感染症対策に資する機器・システムの開 発	1 課題当たり年間 3,800千円から60,000千 円	最長3年度 令和4年度～ 令和6年度	0～1課題 程度